

令和3年度ふるさとづくり大賞(団体表彰・総務大臣表彰)

### 地域資源生かし遠野を元気に

認定NPO法人 遠野山・里・暮らしネットワーク

農村で自然や文化、住人との交流を楽しむ「グリーン・ツーリズム」を20年以上実施し、令和元年には、遠野の暮らしなどが体感できる旅の営業所を開業。地域づくりの優れた取り組みが評価されました。菊池新一会長は「地元を誇りを持つ市民を増やし、遠野を元気にする取り組みを続けてい」と語りました。



菊池新一会長

令和3年度文部科学大臣優秀教職員表彰

### 児童が主体的に学ぶ教育を実践

土淵小学校研究主任 栗澤 由紀さん

課題解決に主体的に取り組む児童育成を目指した授業を展開し、栗澤さんが同表彰を受けました。同小は、児童自身の「分からない」を肯定する雰囲気醸成や児童の学び合いが中心の授業——などを実践。栗澤さんは「土小全体がワンチームで取り組んだことで、子どもたちの変化を実感できている」と成果を喜びました。



令和3年度社会福祉功労者厚生労働大臣表彰

### 地域の高齢者福祉に長年尽力

梶原 エミ子さん(松崎町)

平成6年から遠野市社会福祉協議会職員として地域福祉推進に貢献。平成18～26までふれあいホーム小友・附馬牛の所長を務めるなど、地域の高齢者福祉向上に尽力しました。梶原さんは「市民の皆さまや職員の支えがあったの表彰。利用者に寄り添って、温かい雰囲気これからも続けていきたい」と話しました。



第14回キャリア教育優良教育委員会文部科学大臣表彰

### 小中高をつなぐふるさと教育

遠野市教育委員会

ふるさと教育をキャリア形成の視点で系統化し、小中高の各段階における学習内容を例示するなど、キャリア教育を充実させたとして表彰されました。市キャリア教育部の細川昭子部会長は「地域に根付く取り組みをキャリア教育の視点で見直し、ふるさとに誇りを持って活躍する人づくりを目指す」と思いを語りました。



左から／澤村一行小中高連携推進監、細川昭子キャリア教育部会長、菊池広親教育長

1月15日 地域で子どもを育てる活動発表会

### 地域と学校の連携・協働に向けて

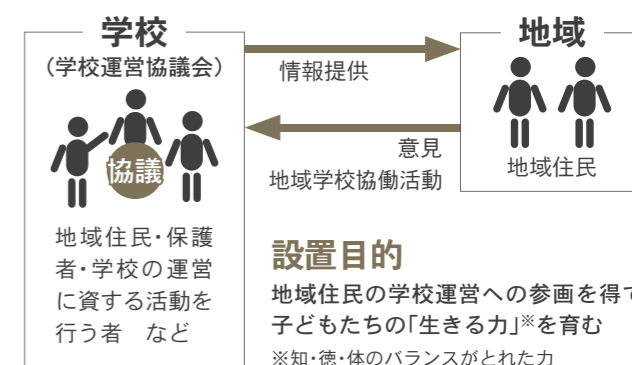
同発表会は市民センター大ホールで開かれ、市内小中学校PTAや関係者など約200人が参加。学校と地域の連携・協働の在り方について考えを深めました。会では、遠野北小・附馬牛小PTAが、子どもたちのために連携した取り組み内容をそれぞれ発表。コミュニティ・スクールについて、市担当者から説明された後にパネルディスカッションを行い、学校・保護者・地域の立場からさまざまな意見が出されました。市PTA連合会副会長の菊池政光さん(小友町)は「子どもは地域の宝。学校のため、遠野の未来のためにみんなが同じ気持ちで進んでいければ良いと思う」と思いを話し、県教育委員会の片方元昭さんは「遠野の地域連携は進んでいる。これまでの取り組みを生かしてさらに進めることで、学校も地域も元気になる」と助言しました。

コミュニティ・スクールは、学校に設置される「学校運営協議会」を活用し、学校と地域住民などが力を合わせて学校運営に取り組む「地域とともにある学校づくり」へ転換を図る仕組み。市は、地域総掛かりで子どもたちの生きる力を育むことを狙い、本年4月から制度を開始する予定です。



学校・保護者・地域の立場から意見を共有したパネルディスカッション

下図\_コミュニティ・スクールのイメージ



1月23日 卯子酉神社(下町町)で消防訓練

### 火災から地域の宝を守る

文化財を火災などから守る「文化財防火デー(1月26日)」を前に、同所で消防訓練が行われました。地域住民や地元消防団、市婦人消防協力隊など38人が参加。卯子酉神社近くで林野火災が発生した想定の下、各機関が連携して消火活動にあたりました。参加した道又周子さん(下町町)は「今回のような訓練は初めてで知らないことが多かった。実際に発生したら怖い」と危機感を募らせました。



消火器による消火訓練を行う地域住民

- List of various awards and achievements, including sports results and individual honors.



### 緑峰高生が手作りサシェ贈る

2月4日、遠野健康福祉の里で遠野緑峰高生産技術科草花研究班2年生がオリジナルサシェ(芳香剤)55個を市に贈呈しました。サシェは、同班が栽培したラベンダーの実を乾燥させ、生徒手作りの袋に入れたもの。同班リーダーの堀切滉太さんは「コロナ禍、緊張状態に対応する医療従事者が少しでも癒されれば良いと思う」と願いを込めました。

